

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	都市型ホテル（スタッフ）	・客室を含めて全面リニューアルし、宿泊部門の営業が再開するため、売上は増加する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・前年の落ち込みが大きいと、食品や飲食関係を中心に改善が期待できる。
		百貨店（企画担当）	・来客数、客単価共に上向いており、春闘の結果に明るい兆しもあることから、景気はやや良くなる。
		百貨店（売場担当）	・消費者の関心が購買に向いてきており、価値観や関心に訴えかける施策で売上の増加が期待できる。
		百貨店（販促担当）	・好調が続く食品部門などに加えて、化粧品などの婦人雑貨や婦人服で売上の伸びがみられる。
		スーパー（店長）	・競合店が開店したため、来客数、売上共に落ち込んでいるが、開店セール終了で価格差がなくなるため、来客数は徐々に回復する。
		コンビニ（経営者）	・来客数が前年を上回り、客単価に回復傾向がみられるため、底打ち感が感じられる。
		コンビニ（エリア担当）	・子ども手当が消費に回ることで、景気の下げ止まりが感じられるため、回復の兆しがみられる。
		コンビニ（店長）	・客単価は低迷しているものの、来客数が改善傾向にあるため、持ち直しに期待できる。
		衣料品専門店（店長）	・企業の配置転換などでスーツの需要が回復しており、一部にシビアな客はいるものの、単価を気にしない客も増えているため、買い控えの弱まる傾向がみられる。
		乗用車販売店（経営者）	・4月からの重量税減額は、新車のみならず車検の費用軽減につながり、業界全体に効果が期待できる。節約志向が強まる一方で、少々高額でもディーラーでの整備を希望する声が多くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・自治体のエコカー購入補助金が6月まで続くため、しばらくは販売量の伸びが期待できる。
		高級レストラン（支配人）	・市内のホテル競争は閉鎖や撤退などで転換期にあり、外資系ホテルがオープンするまで来客数の動きに期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・人通りが増えているため、悪かった前年に比べて来客数の増加は期待できる。
旅行代理店（店長）	・予約の受付状況では、前年を上回る月が出始めている。消費動向に敏感なファミリー層やヤング層の動きに注目したい。		
変わらない	商店街（代表者）	・厳しい天候が続いて客足が遠のいているため、入学時期の需要回復が期待される。	
	商店街（代表者）	・先行き不安から、消費者は財布のひもを固くしており、厳しい状況は変わらない。	
	一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・子ども手当の支給が決まったものの、貯蓄などに回るため、消費への効果は期待できない。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来店客の中には、就職先が見つからない調理師や、給料が少ないとこぼすタクシー運転手がおり、景気の先行きに明るさは見えない。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・景気の先行きが不透明なため、必要な物しか買わない消費者の傾向が続く。	
	一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・新学期や新生活向けの消費が期待できるものの、今後も続くという見込みは薄い。	
	百貨店（売場主任）	・母の日などには衣料品よりも雑貨を買い求める傾向があり、ギフト需要の客単価は低迷する。また、食品の大型催事を計画しているが、シャワー効果はあまり期待できない。	
	百貨店（広報担当）	・来客数は回復傾向にあるものの、消費者の低価格志向が強いため、厳しい状況は変わらない。	
	百貨店（経営者）	・食品や生活用品など売上が前年を上回る部門がみられるものの、主力の婦人服部門で苦戦が続く。	
	百貨店（経営者）	・春闘の回答状況から、所得の改善は期待できない。生活に余裕がなければ、消費にはなかなかお金が回らない。	
	スーパー（経営者）	・雇用環境に持ち直しの動きがあるものの、来客数や客単価は下げ止まった状態が続いており、当分改善は期待できない。	
	スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークや子ども手当の支給に期待するものの、消費者に先行き不安があるため、財布のひもは固い。	
	スーパー（店長）	・1品単価、客単価、買上点数共に低迷しており、価格競争に歯止めがかからない。	

スーパー（店長）	・消費者の低価格支持が続いているため、当分状況に変化はない。
スーパー（総務担当）	・子ども手当やエコポイントの延長は景気を下支えするかもしれないが、有効求人倍率の低迷、失業保険の給付期限切れ、社会保険料や公共料金の負担増などの先行き不安があるため、厳しい状況は変わらない。
スーパー（営業担当）	・来客数は上向くものの、消費者の財布のひもが固いため、買上点数が低迷する。企業の求人が増えないため、地域経済は安定しない。
コンビニ（エリア担当）	・人口が減少して市場規模が縮小傾向にある。
衣料品専門店（経営者）	・気温の上昇で来客数の回復が予想されるものの、デフレによる厳しい売上はしばらく続く。
衣料品専門店（経営者）	・悪い状況は変わらず、景気の先行きに期待できない。
衣料品専門店（店長）	・買い足しや買換えなどで購入客は増えているが、値ごろな商品でも必要のない物は購入しない傾向は当分変わらない。
衣料品専門店（店長）	・クールビズでスーツの需要が減少するため、客単価は前年並みに低迷する。
衣料品専門店（総務担当）	・景気対策の効果が見えないため、消費者の先行き不安による消費低迷は続く。
家電量販店（店長）	・エコポイントによる需要が高まっているものの、一時的な動きであり今後は続かない。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の延長は需要を刺激するものの、個人、法人共に購買意欲が冷え込んでおり、来客数は減少傾向にある。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金の延長に加えて重量税が変更されるため、新車販売と車検入庫の促進に期待できる。
乗用車販売店（経営者）	・エコカー購入補助金が延長されたものの、新車買換えを我慢する様子が見られ、車検では整備内容の確認が厳しくなっている。
住関連専門店（経営者）	・中小企業への景気対策が実施されているものの、効果の兆しはみあたらない。
住関連専門店（経営者）	・新生活や人事異動による需要はあるが、低価格品で間に合わせるため、売上は低迷する。
住関連専門店（経営者）	・防衛策などで厳しい経営を続ける同業者が多く、正常な商売に戻るには時間がかかる。
その他専門店〔呉服〕（経営者）	・来客数があっても売上に結び付かないため、先行き不安は続いている。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・新年度の経済政策が実施されるものの、酒類販売への効果はあまり期待できない。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・季節的な変動はあるものの、全体的な景気は変わらない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・タイヤ需要の回復には期待できるものの、燃料の仕入価格が上昇するため、需要の減少が懸念される。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・週末の市況が不安定な状況に加えて、仕切り価格の取引内容が変更になるため、厳しい経営が続く。
高級レストラン（経営者）	・景気回復の材料は見当たらないが、更なる悪化や二番底の懸念は感じられない。
一般レストラン（経営者）	・スーパーなどの激安弁当が売れ、家食が増えているため、外食は厳しい状況が続く。
一般レストラン（スタッフ）	・来店客から節約ムードが消えており、今後の消費回復に期待できる。
スナック（経営者）	・歓送迎会などの来客数が例年を下回っており、今後の売上も低迷が予想される。
その他飲食〔弁当〕（スタッフ）	・東北新幹線の新駅が郊外になるため、ますます中心部には人が集まらなくなる。
観光型ホテル（経営者）	・周囲ではイベントもなく、直前の宿泊予約が常態化しているため、3か月先の見通しは暗い。
観光型ホテル（スタッフ）	・消費者の財布のひもは固く、しばらく厳しい状況が続く。
観光型旅館（経営者）	・旅行代理店が人員削減や閉鎖しているため、厳しい予約状況となっている。
都市型ホテル（経営者）	・宿泊部門とレストラン部門では来客数の減少が続いており、今後の予約状況も期待できない。

	都市型ホテル（スタッフ）	・デフレの傾向は強まっており、消費者ニーズに合う低価格商品の提供や仕入価格の引下げ交渉等、生き残りをかけた厳しい企業経営が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・長引く景気低迷と売上不振により、なんとか営業を続けている会社も今後の継続が不透明な状況である。
	タクシー運転手	・暖かくなるにつれてタクシーを乗り控える傾向が強まっており、厳しい状況は変わらない。
	タクシー運転手	・先が見えない不安が続くため、積極的な消費は見られない。
	通信会社（営業担当）	・景気が回復する要因はみあたらない。
	通信会社（営業担当）	・抜本的な景気対策を講じない限り、現状からの景気回復は難しい。
	通信会社（営業担当）	・景気の先行きを判断できる材料がみあたらない。
	通信会社（営業担当）	・消費者の様子に、景気対策への期待が感じられないため、景気は当分変わらない。
	通信会社（営業担当）	・景気回復への期待感強いものの、好況感を実感するには時間がかかる。
	遊園地（経営者）	・子ども手当の支給には多少期待するものの、地元テレビ局による大型イベントの影響が懸念され、厳しい見通しは変わらない。
	美容室（経営者）	・子ども手当など景気対策の効果が現れるのは、当分先である。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新年度の予算成立や子ども手当の支給に期待感はあるものの、先行きは不透明である。
	設計事務所（経営者）	・新しい仕事の話はあるが、実際の受注につながるにはしばらく時間がかかる。
	住宅販売会社（従業員）	・新規受注が見込めないため、受注は低迷する。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・割引やポイントセールの効果は弱く、商店側の販売促進費用が負担になるため、各店舗の体力を弱めていく。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・消費者は、所得の悪化と先行きの不安から、今後も節約の生活が続く。
	百貨店（営業担当）	・厳しい雇用情勢と先行きの不安が続くため、消費の回復は当分期待できない。
	スーパー（店長）	・消費者の節約志向や競合店との価格競争は今後も続くため、客単価、買上点数共に低下する。
	スーパー（店長）	・来客数、売上共に下げ止まりが感じられるものの、近隣に大型競合店が開店したため、今後の影響が懸念される。
	コンビニ（エリア担当）	・来客数や低価格志向が回復する兆しはなく、企業のリストラなどで更なる景気悪化の懸念がある。
	家電量販店（店長）	・エコポイントによる駆け込み需要の反動減が懸念される。
	その他専門店〔パソコン〕（経営者）	・消費者は買物にシビアな傾向が続き、低価格品の売上が小売店の利益率を悪化させる。
	一般レストラン（経営者）	・地元の企業では人員や採用を削減しており、消費の回復は期待できない。
	一般レストラン（支配人）	・景気対策に対する先行き不安があり、消費に回る効果がなければ不景気は当分続く。
	観光型旅館（経営者）	・ゴールデンウィークを除くと平日や他の休前日などに先行予約が入らない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・前評判の高い展示会が他会場に変更となり、期待している売上が見込めなくなっている。
	旅行代理店（従業員）	・個人の海外旅行に回復の兆しがみられるものの、国内旅行は今後も厳しい状況が予想される。
	通信会社（営業担当）	・契約の見直しなどはあるものの、季節的に来客数が落ち着くため、売上には期待できない。
	観光名所（職員）	・予約状況が前年をわずかに下回っており、売上の減少が懸念される。
悪くなる	商店街（代表者）	・景気対策は実施されるものの、効果が実感できるまでには時間がかかるため、景気は悪くなる。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・長引く不況に不漁や天災が重なり、先行き不安で落ち込んだ消費マインドは当分回復しない。
	コンビニ（経営者）	・人口の減少や建設関係の仕事が減少しており、景気は悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・来客数の回復に期待できないため、売上は今後も悪くなる。
	家電量販店（店長）	・エコポイントは延長されるものの、今月のような駆け込み購入はなくなるため、販売台数は落ち込む。
	一般レストラン（経営者）	・労働者の雇用環境が悪化しており、先行きに期待できない。

		タクシー運転手	・中心部の建物には空店舗が多くみられ、景気の悪化が当分続く。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・住宅部材の需要増加に伴い、収益性の改善が続いている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・為替が持ちこたえているため、今後は輸出分野の環境改善が期待できる。
		建設業（経営者）	・一般工事の他に、リフォームや新築工事の受注が少しずつ入っており、現在よりも景気は上向く。
		通信業（営業担当）	・年度末決算の見通しが良いことから、景気回復が期待できる。
		金融業（広報担当）	・積雪期が終わり、年度が変わることから経済活動の活性化が期待できる。
		広告業協会（役員）	・首都圏ではテレビ、新聞関係の出稿が増えており、数か月後には地方にもその影響が期待される。大型案件の引き合いが多少来ているため、先行きに明るさが感じられる。
		広告代理店（経営者）	・東北新幹線の延伸による新しい仕事が動き出している。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・納入単価は低いものの、景気の底を過ぎているため、今後は販売数量の伸びが期待できる。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・今後も首都圏の需要が続けば、地方にも需要の波及効果が期待できる。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・住宅版エコポイントの効果で、新築の受注増加が期待できる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・人の動きは回復傾向にあるものの、まだ土産物の売上につながる顕著な動きはみられない。
		食料品製造業（経営者）	・春闘の賃金交渉から判断すると、景気がよくなる気配はない。
食料品製造業（総務担当）		・原料や燃料の価格上昇など収益面の懸念はあるが、売上は当分横ばいで推移する。	
出版・印刷・同関連産業（経理担当）		・自治体や企業は経費支出を抑制しているため、例年に比べて受注が低迷している。	
一般機械器具製造業（経理担当）		・補助金終了による反動減の懸念はあるものの、自動車部品はしばらく回復傾向が続く。	
建設業（従業員）		・民間の設備投資が活性化しない限り、建設業を取り巻く環境は変わらない。	
建設業（企画担当）		・一部業界では設備投資が見込まれるものの、厳しいコスト競争が続く。	
通信業（営業担当）		・契約更新の価格交渉は依然として厳しく、今後も予断を許さない状況が続く。	
金融業（営業担当）		・特に景気の変化する要因はみあたらない。	
広告代理店（経営者）		・利益率は低いものの、東北新幹線延伸に伴い観光関連の受注が増加している。	
公認会計士		・公共工事や民間の設備投資が減少しているため、地方企業が業績を回復するには時間がかかる。また、消費者の購買意欲が改善しない限り、小売企業の業績回復は厳しい。	
その他企業〔工場施設管理〕（従業員）		・出入り業者から明るい話題は聞かれず、工場の設備稼働が回復するのはまだ先である。	
金属工業協同組合（職員）		・受注はしばらく続くものの、取引先から納期やコストダウンの要請が強く、一方では材料価格の上昇傾向が続いている。	
やや悪くなる	農林水産業（従業者）	・しばらく農業収入がないため、生産資材や個人消費の支出抑制が続く。	
	農林水産業（従業者）	・米生産農家への戸別補償制度が固まったものの、補償減額に対する緩和措置などが見送られている。	
	繊維工業（営業担当）	・大手企業の景気は回復しているものの、中小企業の回復には時間がかかる。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注量が回復する一方で利益率が悪化しており、下請の中小企業は厳しい経営が続く。	
	輸送業（経営者）	・今後も物量の減少傾向が続き、受注量が確保できなくなるなど厳しい状況が予想される。	
	コピーサービス業（経営者）	・民間の動きが悪く、新年度の受注は見通しが立っていない。	
悪くなる			
雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・各企業の採用意欲が強くなっており、日々の求人件数に増加傾向がみられる。
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・自動車関連の本格的な工場移転に伴い、求人に動きがみられる。不動産や流通関連を中心に景気回復が期待できる。

	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・東北新幹線延伸に向けた動きがみられ、景気回復の気運が高まっている。
	職業安定所（職員）	・新規求人数、有効求職数共に改善する傾向がみられる。
	職業安定所（職員）	・求人数の増加や各企業の新規採用状況から判断すると、前年に比べて明るい見通しがある。
	職業安定所（職員）	・雇用調整を実施する企業数は変わらないものの、実施する休業日数に減少傾向がみられる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・組織の集約など取引先からは人員削減の情報が多い。
	人材派遣会社（社員）	・年度末に合わせた営業所の閉鎖が多く、景気回復の話は聞こえてこない。
	人材派遣会社（社員）	・求人が低迷しており、景気回復は程遠い。
	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・景気の先行きは予測が難しく、良くなることを期待している。
	職業安定所（職員）	・談合疑惑のため建設業者が多数処分を受けており、労働者の処遇が懸念される。
	職業安定所（職員）	・新規求人数が29か月ぶりに増加に転じたものの、前年をわずかに上回る水準であり、厳しい状況は変わらない。
	職業安定所（職員）	・有効求人数が前年を下回っており、有効求人倍率の上昇傾向に一息感がみられる。
	職業安定所（職員）	・企業整備が増えており、求人数の回復は見込めない。
やや悪くなる	アウトソーシング企業 （社員）	・以前なら避けるような条件の悪い仕事も受注しており、景気は一段と厳しくなる。
	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・公正取引委員会が県内建設業者に対して談合認定したため、指名停止の措置を受ける企業が増える。
	職業安定所（職員）	・新規求人数に回復傾向はあるものの、百貨店の閉鎖に伴う大量離職者の発生が予想され、先行きは厳しい状況である。
	職業安定所（職員）	・事業縮小を検討する企業や事業維持が限界にきている企業があり、今後の見通しが立たない事業所は多い。
悪くなる		